

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	基本構想を推進するために
基本施策 1	行財政運営の充実
施策 34	行政運営
基本方針	
市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。	

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
第六次羽村市長期総合計画の策定	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進	計画どおり完了	A	A	S	現状のまま継続
「羽村市史」の編さん	遅延	A	B	B	現状のまま継続
シティプロモーションの実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
杏林大学との連携事業の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
公共施設の総合的な管理	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策34「行政運営」では、6事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進」などの4事業は、「計画どおり完了」で、滞りなく履行されている。「第六次羽村市長期総合計画の策定」では、市民意見を取り入れるワークショップ等については令和2年度において開催することとしたため、「計画を見直して完了」としている。</p> <p>「『羽村市史』の編さん」は、資料編「近現代」については、刊行に携わる部会の活動が一部停滞したこと、刊行予定だった資料編「考古・中世補遺」及び「民俗」については、新型コロナウイルスの感染拡大等により編集作業に遅れが生じたため、年度内に完了させることができず、発行を次年度へ繰り越したため、「遅延」と評価している。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、については、すべてA(適切なもの)として評価している。</p> <p>効率性(手法)については、「『羽村市史』の編さん」では、刊行に携わる部会の活動が一部停滞したことにより、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進」は、令和元年度において、「東京2020オリンピック聖火リレーリハーサル」・「キルギス共和国を相手国としたホストタウン登録」等の取組みにより、羽村市を国内外に大きくPRすることもできたことから、S(より適切なもの)と評価している。</p>

また、「『羽村市史』の編さん」は、各資料編の刊行が次年度へ繰り越しとなったため、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。

本施策の基本方針は、「市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進し、また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進する」ことであり、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進」では、「節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業」・「事前キャンプ等誘致事業」等の様々な事業を、様々な主体と連携して取り組むことで、東京2020大会の気運醸成・市民意識の高揚について一定の効果を得るとともに、「東京2020オリンピック聖火リレーリハーサル」・「キルギス共和国を相手国としたホストタウン登録」等の取組みにより、羽村市を国内外に大きくPRすることもできた。

また、「シティプロモーションの推進」については、「羽村市シティプロモーション基本方針」に基づき、市民や事業者等と連携しながら各事業を実施し、「はむら家族プロジェクト」の参加者からは好意的な意見が寄せられ、継続参加者や事業運営に参画する市民や事業者が出てきているとともに、「ケロボンズファミリーコンサートinはむら」「暮らし子育て体験ツアー」の募集及び『東京で子育てしやすいまち』の認知拡大を目的に行ったインターネット広告では、バナーが5千万回以上表示され、「東京で子育てしやすいまち」の認知につながる一定の効果が表れているほか、他の事業についても予定していた事業が順調に進捗していることから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

1.基本項目		作成部署	企画総務部		企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 第六次羽村市長期総合計画の策定		平成 31 年	その他	自治事務(市独自)	直営
01					
02					
03					
04					
05					
関連課	広報広聴課				
基本構想を推進するために		施策区分	34	行政運営	管理No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。
事業内容	第六次となる羽村市長期総合計画の策定を目指し、策定手法や計画の体系などを含めて他自治体の状況なども参考に調査研究を行い、市の将来を見据えた新たな計画の策定に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等		新たな計画の策定に向けた調査・研究	同左	第六次羽村市長期総合計画の策定
		計画策定に向けた庁内検討委員会の設置・開催	庁内検討委員会の開催	同左
		市民意見を取り入れるためのワークショップ・懇談会等の検討・実施	同左	パブリックコメント等の実施
			長期総合計画審議会の設置・諮問・開催	長期総合計画審議会の開催・答申
		※事業を検討する中で、事業費を算出	市政世論調査の検討・実施	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	200 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費		63	-	-
人件費(係長職)		962	8,940	8,940
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)		1,025	8,940	8,940
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		1,025	8,940	8,940
財源内訳(合計)		1,025	8,940	8,940

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 18 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	第六次長期総合計画の策定に向けた取組みを進めるにあたり、その基礎となる現行の第五次長期総合計画の総括を行い、整理すること。

②活動実績

新たな計画の策定に向けた調査・研究として、他市の長期総合計画の調査(5月・6月)、管理職対象の第五次長期総合計画に関する調査・集計(7月～9月)を行った。また、全課を対象に、第五次羽村市長期総合計画における「これまでの取組みと今後2年間の方向性」について調査を行い、整理した。庁内において長期総合計画検討委員会を設置・開催し(1月・2月・3月)、第五次長期総合計画後期基本計画の進捗状況を審議した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	63	-	63	4	6.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	200H	1人	200H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○新たな計画の策定に向けた調査・研究 ○計画策定に向けた庁内検討委員会の設置・開催 ○市民意見を取り入れるためのワークショップ・懇談会等の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな計画の策定に向けた調査・研究 ○計画策定に向けた庁内検討委員会の設置・開催(3回) ○市民意見を取り入れるためのワークショップ・懇談会等の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/>今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/>利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/>その他 () 	A
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/>民間活力を活用している <input type="checkbox"/>業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/>その他 () 	A
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/>計画の事業量に達した <input type="checkbox"/>計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/>事業の目標が達成された <input type="checkbox"/>事業の効果が表れている <input type="checkbox"/>施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった 	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

新たな羽村市長期総合計画の策定に向け、第五次長期総合計画の「これまでの取組みと今後2年間の方向性」の整理を行うことで、次期の羽村市長期総合計画の策定において、新たな行政需要に的確に対応した行政運営へつなげることができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

令和4年度を開始年度とする第六次羽村市長期総合計画の策定に向け、市政世論調査や市民ワークショップを開催し、市民意見等を聴取するとともに、将来人口の推計を行い、市の将来を見据えた新たな計画策定に取り組む。

1.基本項目		作成部署	企画総務部 東京オリンピック・パラリンピック準備室			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進	平成 25 年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01	節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業	年				
02	事前キャンプ等誘致事業	年				
03	事前キャンプ候補地ガイドへの掲載による情報発信	年				
04	オリ・パラ通信の広報はむらへの掲載等による情報発信	年				
05	広域的取組み	年				
関連課						
基本構想を推進するために		施策区分	34	行政運営	管理No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針	市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。
事業内容	東京2020大会の気運醸成や市民意識の高揚を図るため、事前キャンプ地としての誘致活動などに取り組むとともに、市民団体など多様な主体と連携した取組みを進めます。また、西多摩地域などの自治体と連携し、オリンピック・パラリンピックのレガシーを創出する取組みを進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業の実施 11回	同左 9回	同左	
	事前キャンプ等誘致事業の実施、オリンピック・パラリンピアンとの交流事業の検討	同左	事前キャンプ・交流事業の実施	
	事前キャンプ候補地ガイドへの掲載による情報発信	同左 12回	同左	
	オリ・パラ通信の広報はむらへの掲載等による情報発信 12回	同左 2回	同左	
	検討委員会の開催 3回	同左	広域的取組みの実施	
	西多摩地域広域連携によるホスタウン登録申請 (12月末現在)			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	1,860 H	2人	1,860 H	2人	1,860 H	人	H
主事・主任職	1人	1,860 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	10,100	13,502	12,130	
人件費(係長職)	17,879	17,879	17,879	
人件費(主任・主事職)	5,869	5,869	5,869	
総事業費(合計)	33,848	37,250	35,878	
国庫支出金				
都支出金	5,000	5,000	5,000	
受益者負担額				
その他特定財源		2,000	2,000	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	28,848	30,250	28,878	
財源内訳(合計)	33,848	37,250	35,878	

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 670 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
		<p>【H31年4月総合調整会議 市長指示事項『主要共通事項:東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取組みの推進』】</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を一年後に控え、今年度は大会気運の醸成、市民意識の高揚を図るために重要な一年となる。キルギス共和国男子柔道チームの事前キャンプ誘致や、一年前イベントの開催、市独自ボランティアの募集等、大会に向けた様々な準備に積極的に取り組むこととなるが、東京オリンピック・パラリンピック準備室を中心に、組織横断的に取組みが進むよう、輝プロジェクトの「東京2020大会を契機とするレガシー創出プロジェクト」による連携なども活かしながら、オール羽村の体制で大会気運の醸成に努めること。</p>

②活動実績

東京2020大会の気運醸成や市民意識の高揚を図るため、「羽村市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針」に基づき、事前キャンプ地としての誘致活動等に取り組むとともに、多様な主体と連携し、オリンピック・パラリンピックのレガシーを創出する取組みを推進した。

○節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業の実施

①日野自動車(株)羽村工場さくらまつり2019(4/6)、②健康の日(5/19)、③環境フェスティバル(6/1)、④障害者スポーツ・レクリエーションのつどい(6/30)、⑤夏まつり(7/27・28)、⑥ふれあい福祉まつり(10/20)、⑦産業祭(11/2)、⑧子どもフェスティバル(11/9)において、オリンピック・パラリンピック関連ブースを出展。さらに、節目イベントとして⑨東京2020大会を応援しよう！1年前イベントin羽村(9/7:ブース出展も実施)を開催。

○事前キャンプ等誘致事業の実施、オリンピック・パラリンピアンとの交流事業の検討

キルギス共和国現地において、同国男子柔道ナショナルチームによる「2019世界柔道選手権」と「東京2020オリンピック」での事前キャンプに関する合意書を同国柔道連盟と締結(7/4)。この合意書に基づき、「2019世界柔道選手権」での事前キャンプ受入れを実施(8/5～24)。

○事前キャンプ候補地ガイドへの掲載による情報発信

東京都、東京2020組織委員会、全国知事会のWebサイトでの情報発信。

○オリ・パラ通信の広報はむらへの掲載等による情報発信

広報はむら(毎月15日号)、市公式サイトに「オリ・パラ通信」を連載。

○検討委員会の開催

第8回(5/20)、第9回(8/26)、第10回(9/27)、第11回(11/5)、第12回(1/27)の計5回開催。

○西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請

アメリカを相手国としたホストタウン登録の再申請について、西多摩地域広域行政圏協議会を中心に西多摩地域8市町村で調整中。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	13,502	▲ 454	13,048	12,744	97.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	3,720 H	2人	1,860 H
主事・主任職	1人	1,860 H	1人	1,860 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<p>○節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業の実施【9回実施】</p> <p>○事前キャンプ等誘致事業の実施、オリンピック・パラリンピアンとの交流事業の検討</p> <p>○事前キャンプ候補地ガイドへの掲載による情報発信</p> <p>○オリ・パラ通信の広報はむらへの掲載等による情報発信【12回掲載】</p> <p>○検討委員会の開催【2回開催】</p> <p>○西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請</p>	<p>⇒</p> <p>○節目イベント等の年間を通じた気運醸成事業の実施【9回実施】</p> <p>○事前キャンプ等誘致事業の実施、オリンピック・パラリンピアンとの交流事業の検討【キルギス共和国男子柔道ナショナルチームによる「2019世界柔道選手権」・「東京2020オリンピック」事前キャンプに関する合意書を締結。「2019世界柔道選手権」事前キャンプを受入れ】</p> <p>○事前キャンプ候補地ガイドへの掲載による情報発信【東京都、東京2020組織委員会、全国知事会のWebサイト】</p> <p>○オリ・パラ通信の広報はむらへの掲載等による情報発信【12回掲載】</p> <p>○検討委員会の開催【5回開催】</p> <p>○西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請【再申請について調整中】</p>

1.基本項目	作成部署	企画総務部		市史編さん室		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00「羽村市史」の編さん	平成 25 年	その他	自治事務(市独自)	直営	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本構想を推進するために	施策区分	34	行政運営	管理No.	3	

2.事業の概要

施策の基本方針	市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。
事業内容	羽村の戦後の歩みを中心に、「羽村町史」の内容を踏まえつつ、新たな調査・研究の成果を盛り込んだ原始から現代に至る通史に自然や民俗分野を加えた「羽村市史」(本編)を刊行します。また、調査・研究の過程で得られた史料等を資料編として刊行するとともに、市民に還元するための講座を開催します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市市史編さん本部設置要綱、羽村市市史編さん委員会設置要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市史編さん本部会議 3回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	市史編さん委員会 3回	同左 3回	同左 3回	同左 3回
	各部会調査活動	同左	同左	同左
	資料編原稿執筆・印刷製本 ・『羽村市史 資料編 近世』 ・『羽村市史 資料編 自然』	同左 ・『羽村市史 資料編 考古・中世補遺』 ・『羽村市史 資料編 近現代』 ・『羽村市史 資料編 民俗』	同左 ・『社寺・文化財・人物編』	同左 本編、ダイジェスト版 準備、原稿執筆 本編、ダイジェスト版原稿 執筆・印刷製本 ・本編(自然・原始～近世) ・本編(近代・現代・民俗)
	市史関連講座の開催 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	1,860 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H
主事・主任職	1人	1,860 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H	1人	1,860 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	31,747	36,374	26,967	42,072
人件費(係長職)	8,940	8,940	8,940	8,940
人件費(主任・主事職)	5,869	5,869	5,869	5,869
総事業費(合計)	46,556	51,183	41,776	56,881
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	46,556	51,183	41,776	56,881
財源内訳(合計)	46,556	51,183	41,776	56,881

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 921 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) 市史資料編 の 出来高 6,000 冊 における1冊 のコストは 8,531 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

これまでに刊行した4冊の資料編に続いて、今年度は3冊の資料編を刊行すべく編集作業に取り組んだ。
 しかし第3部会(近代・現代)の部会長及び部会員(2名)が辞意を表明し、それらの慰留に努めたが事態は好転せず、部会の活動は一部を除いて停滞することとなった。そのため、刊行予定だった資料編「近現代」は刊行時期を令和2年度に繰り延べることとした。
 また、刊行予定だった資料編「考古・中世補遺」及び「民俗」については、新型コロナウイルスの感染拡大等により編集作業に遅れが生じたため、年度内に完了させることができず、予算を令和2年度に繰り越して刊行することとした。
 市史の監修及び構成・編集を担う市史編さん委員会に関しては、第3部会の部会長が委員長を務めていたこともあり、全体の体制が整わないことから開催することができなかった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	36,374	▲ 3,853	32,521	25,437	78.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	1,860 H	1人	1,860 H
主事・主任職	1人	1,860 H	1人	1,860 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○市史編さん本部会議 2回 ○市史編さん委員会 3回 ○羽村市史資料編の印刷製本「考古・中世補遺」・「民俗」・「近現代」 ○市史関連講座 1回 ○「羽村市史編さんだより」の発行 年4回 		<ul style="list-style-type: none"> ○市史編さん本部会議 1回(11/19) ○市史編さん委員会 0回 ○羽村市史資料編の編集作業「考古・中世補遺」・「民俗」・「近現代」(一部) ○市史関連講座 1回(12/7) ○「羽村市史編さんだより」の発行 4回(17号～20号)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (刊行に携わる組織(部会・専門調査員等)のマネジメントが不十分だった)	B
有(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市史の編さん事業を進めるにあたり、市民、歴史関連施設からの資料提供の協力や、市史編さんの部会員、調査員等による調査・研究によって、羽村市史資料編「考古・中世補遺」「民俗」及び「近現代」の一部の編集作業を進めることができた。
 また、これまでの調査・研究の成果を市民に還元するため、第5回目となる市史関連講座を開催した。今回の参加者は36名で、参加者を対象に実施したアンケートによると高い満足度評価を得ることができた。

Action【改善】

8. 今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

まずは、令和元年度から繰り越した羽村市史資料編「考古・中世補遺」「民俗」の早期刊行に取り組む。あわせて活動を休止している第3部会部会長の復帰に向けた調整に取り組み、停滞している部会活動を再び軌道に乗せ、資料編「近現代」の編集作業を推進する。
さらに羽村市史本編の刊行に関する作業を本格化させるために部会との協議を開始し、本編の構成をはじめとする各種基本項目について全体の意思形成を行っていく。

1.基本項目		作成部署	企画総務部 シティプロモーション推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 シティプロモーションの推進		年				
01	はむら家族プロジェクト	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
02	魅力発信市民記者	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
03	公式PRサイト運用	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
04	シティプロモーション研修	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
05	はむりんの市内外のイベントへの出演	平成 25 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
関連課		課税課				
基本構想を推進するために			施策区分	34	行政運営	管理No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言など多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。
事業内容	市の人口の年齢構成で減少傾向にある若い世代の定住につなげるため、若い世代が感じている市独自の暮らしやすさや子育てのしやすさなどの魅力を、市民・団体・事業者と連携しながら表現するとともに、戦略的・継続的に発信します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	ブランド化の推進	同左	同左	同左
	はむら家族プロジェクトの実施 ・家族写真撮影会 20組 ・はむら家族ミーティング 5回 ・#愛情はむら写真展 1回 ・家族体験イベント 1回	同左	同左	同左
	暮らし子育て体験ツアーの開催 1回	同左	同左	同左
	魅力発信市民記者事業の推進	同左	同左	同左
	公式PRサイトの運用	同左	同左	同左
	シティプロモーション研修の実施	同左	同左	同左
	はむりんを活用したPR活動の展開 操演85件 (平成30年12月末現在)	同左	同左	同左
	オリジナルナンバープレートの交付 265枚 (平成30年12月末現在)	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	750 H	1人	750 H	1人	750 H	1人	750 H
主事・主任職	1人	500 H	1人	500 H	1人	500 H	1人	500 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	9,451	9,456	9,456	9,456
人件費(係長職)	3,605	3,605	3,605	3,605
人件費(主任・主事職)	1,578	1,578	1,578	1,578
総事業費(合計)	14,634	14,639	14,639	14,639
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	1,188	1,185	1,185	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	13,446	13,454	13,454	14,639
財源内訳(合計)	14,634	14,639	14,639	14,639

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「羽村市シティプロモーション基本方針」に基づき、主にターゲットとする「未就学児を育てる20代・30代の共働き世帯」の定住人口の増加につなげるため、「ブランド化の推進」「戦略的・継続的な情報発信」「シビックプライドの醸成」に資する事業を展開した。

【はむら家族プロジェクト】

市民と連携して広く魅力を発信する事業として、①子育て家族をモデルにプロフォトグラファーが撮影した「家族写真撮影会」、②子育てを楽しむ家族が集い対話をする中でつながる「はむら家族ミーティング」、③家族写真やインスタグラムの写真を展示して子育て家族の幸福感を発信した「#愛情はむら写真展」、④子育て家族に人気の有名人を起用して市内外から参加した子育て家族に『東京で子育てしやすいまち』と印象付けた「ケロポンズファミリーコンサートinはむら」を実施した。

また、「ケロポンズファミリーコンサートinはむら」「暮らし子育て体験ツアー」及び『東京で子育てしやすいまち』の認知拡大に関するプロモーション活動をインターネット広告などのメディアを活用して展開した。

【暮らし子育て体験ツアー】

羽村市での暮らしや子育ての魅力を市外に在住する子育て世帯に知ってもらうことで、『東京で子育てしやすいまち』としての認知を拡大するとともに、子育て・保育環境を体感してもらうため、市内の保育園が一堂に会する「はむら保育展」と「羽村市動物公園」等を紹介する体験ツアーを実施した。

【魅力発信市民記者】

毎月編集会議を開催し、活動を支援するとともに、市民記者が執筆した記事を公式PRサイトに掲載して発信した。更に、本事業の認知を拡大するためイベントを開催した。

【公式PRサイト】

『東京で子育てしやすいまち』のイメージを集約して発信するウェブサイトとして運用した。はむら家族プロジェクトで撮影した家族写真やインスタグラムに掲載した写真、魅力発信市民記者の記事の掲載や、はむら家族プロジェクトの事業や暮らし子育て体験ツアーの特設ページを開設することで閲覧を促した。

【シティプロモーション研修】

「オールはむら」でシティプロモーションを進めるには、職員が率先して実践する必要があるため、知識や技術を習得する研修を開催した。

【はむりんの市内外のイベント出演】

市内外のイベント等にはむりんが出演し、ブランド啓発物品等を配布するなど、『東京で子育てしやすいまち』の認知拡大に取り組んだ。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,456	-	9,456	8,976	94.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	750H	1人	750H
主事・主任職	1人	500H	1人	500H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○はむら家族プロジェクトの実施 ○暮らし子育て体験ツアーの実施 ○魅力発信市民記者事業の推進 ○公式PRサイトの運用 ○シティプロモーション研修の実施 ○はむりんを活用したPR活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○はむら家族プロジェクトの実施 参加者2,406人 ・家族写真撮影会3回(参加家族20組68人・申込み家族24組80人) ・はむら家族ミーティング5回(参加者233人) ・#愛情はむら写真展1回(参加者1,308人) ・ケロポンズファミリーコンサートinはむら1回(参加者797人・申込み2,614人) ・インターネット広告(表示50,513,761回) ○暮らし子育て体験ツアーの実施 参加者15人・申込み15人 ○魅力発信市民記者事業の推進 編集会議11回、臨時会議1回、イベント2回、記事執筆5本 ○公式PRサイトの運用 アクセス33,030件 ○シティプロモーション研修の実施 実践研修10回、集合研修6回 ○はむりんを活用したPR活動の展開 イベント出演 75件、PRグッズの新規承認件数2件

Check【評価】**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)当(性)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率(性)性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効(性)性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

人口減少・少子高齢化が進む中、全住民福祉の増進を図ることを目的に、将来の羽村市を支える若い世代の転入・定住を促進するため、「羽村市シティプロモーション基本方針」に基づき、市民や事業者等と連携しながら各事業を実施した。

「はむら家族プロジェクト」の参加者からは好意的な意見が寄せられ、継続参加者や事業運営に参画する市民や事業者が出てきている。また、「ケロポンスファミリーコンサートinはむら」「暮らし子育て体験ツアー」の募集及び『東京で子育てしやすいまち』の認知拡大を目的に行ったインターネット広告では、バナーが5千万回以上表示され、「東京で子育てしやすいまち」と認知させることができ一定の効果があるなど、行政需要に対応する取組みの推進に努めた。

なお、さらなる認知拡大を図るためには継続して実施する必要がある。

Action【改善】**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

若い世代の定住につなげるために、移住・定住促進ブランド『東京で子育てしやすいまち』を浸透させていくことが肝要であるため、市外在住者を対象としたインターネット広告を継続して実施するとともに、より効果的なプロモーション活動を検討する。

また、「オールはむら」で取り組んでいくため、引き続き市民や事業者等との連携を推進する。

1.基本項目		作成部署	企画総務部		企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法 プロジェクト
00 杏林大学との連携事業の充実		平成 22 年	継続	自治事務(市独自)	直営 ○
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本構想を推進するために		施策区分	34 行政運営	管理No.	5

2.事業の概要

施策の基本方針	市民と行政が、それぞれの役割を担い、ともに課題解決に取り組んでいくため、わかりやすい行政情報の提供と行政への市民参画を推進します。また、広域連携や産学官金労言などの多様な主体との連携を推進するとともに、新たな行政需要に的確に対応した行政運営を推進します。
事業内容	杏林大学教員の知識と学生の柔軟な発想や行動力を市のさまざまな施策に取り込み、市のにぎわいと活力の創出につなげていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	連携協議会 年2回	同左 年2回	同左 年2回	同左 年2回
	連携事業 40事業	同左 40事業	同左 40事業	同左 42事業
	杏林大学、羽村市・三鷹市・八王子市による連携事業の検討・実施	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2 人	732 H	2 人	732 H	2 人	732 H	2 人	732 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	7,036	7,036	7,036	7,036
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	7,036	7,036	7,036	7,036
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	7,036	7,036	7,036	7,036
財源内訳(合計)	7,036	7,036	7,036	7,036

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

羽村市と杏林大学との連携事業については、43事業を計画し、協議のうえ、多くの事業を杏林大学の教員・学生と連携して実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	1,464 H	1人	732 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○連携協議会 年2回 ○連携事業 40事業 ○杏林大学、羽村市・三鷹市・八王子市による連携事業の検討・実施		○連携協議会 年2回 ○連携事業 43事業 ○杏林大学、羽村市・三鷹市・八王子市による連携事業の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

杏林大学との連携は、市域に大学がない羽村市において欠かすことのできないものであり、大学教員の知識や学生が持つ発想・行動力を活かし、市に賑わいと活力を生み出すなど、多様な主体との連携に努めた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

大学教員の知識の活用や学生の参画は行政運営に必要不可欠な取組みであり、さまざまな分野における連携事業の更なる深化を目指し、取組みの充実を図っていく。杏林大学のキャンパスは平成28年度から三鷹市に集約されていることから、地理的要因による連携の停滞がないよう引き続き取り組んでいく。

1.基本項目		作成部署		都市建設部 建築課		
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 公共施設の総合的な管理		平成 24 年	継続	自治事務	直営	
01						
02						
03						
04						
05						
関連課	各施設所管課					
基本構想を推進するために		施策区分	34	行政運営	管理No.	6

2.事業の概要

施策の基本方針	既存公共建築物の機能維持と長寿命化を図るため、施設の改修工事を計画的に実施します。
事業内容	「公共施設等総合管理計画」や「公共建築物維持保全計画」に沿って、市民や団体、事業者の意見聴取に努めながら、長寿命化や大規模改修、整理統合などの手法により、最適化および財政負担の軽減、平準化を図り、公共施設の総合的な管理を推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等				【大規模改修工事】 設計:コミュニティーセンター
		【耐震診断】 診断:中央館	【同左】 診断:栄会館、三矢会館、神明台会館、富士見平会館、小作本町会館、消防団車庫(第五分団、第六分団)	【同左】 緑ヶ丘会館、美原会館
	【特別支援学級整備工事】 羽村西小		【体育館床改修工事】 設計:武蔵野小	【同左】 工事:武蔵野小
	【学校トイレ改修工事】 I期工事:富士見小	【同左】 II期工事:富士見小	【同左】 III期工事:富士見小 I期工事:二中	【同左】 II期工事:二中 設計:羽村東小
	【防音機能復旧工事】 I期工事:一中	【同左】 II期工事:一中		【防音機能復旧工事】 設計:羽村東小、富士見小
			【学校防水改修工事】 羽村西小	【学校防水改修工事】 富士見小(外壁含む)
		【プール改修工事】 工事:二中	【プール改修工事】 工事:栄小	
	【動物公園改修工事】 工事:管理事務所、外柵等			
	【防水改修工事】 工事:区画整理事業用建物		【防水改修工事】 工事:消防車庫(第四分団)	【防水、外壁改修工事】 分庁舎、消防車庫(第一分団、第二分団)、天王台会館、神明台会館、中央館
	【空調等改修工事】 設計:郷土博物館	【同左】 設計:市役所本庁舎(東・西)、車庫棟 工事:郷土博物館	【同左】 工事:市役所本庁舎(東・西)、車庫棟	【同左】 設計:福祉センター
			【空調等改修工事】 設計:五ノ神会館、シルバー人材センター	【同左】 工事:五ノ神会館(防水、外壁含む)、シルバー人材センター、緑ヶ丘三町会館(防水含む)、上水会館(防水含む)
			【ボイラー改修工事】 設計:いこいの里	【同左】 工事:いこいの里
			【トイレ等改修工事】 設計:富士見斎場	【同左】 工事:富士見斎場
		【市営住宅防水、外壁等改修工事】 工事:栄町団地	【同左】 工事:美原団地	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120H	1人	120H	1人	120H	1人	120H
主事・主任職	2人	480H	2人	480H	2人	480H	2人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	424,580	305,808	505,771	632,154
人件費(係長職)	577	577	577	577
人件費(主任・主事職)	3,029	3,029	3,029	3,029
総事業費(合計)	428,186	309,414	509,377	635,760
国庫支出金	213,186	136,930	36,781	45,314
都支出金	5,148	5,245	9,402	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		10,760		
起債				
一般財源(人件費含む)	209,852	156,479	463,194	590,446
財源内訳(合計)	428,186	309,414	509,377	635,760

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

施設を所管する関係部署と綿密な調整を図り、空調やトイレ改修等の改修工事及び耐震診断を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	305,808	▲ 2,657	303,151	296,911	97.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	750 H
主事・主任職	2人	480 H	1人	500 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○空調改修工事:【設計】庁舎、【工事】羽村一中、博物館 ○トイレ改修工事:富士見小 ○プール改修工事:羽村二中 ○耐震診断:中央館	⇒ ○空調改修工事:【設計】庁舎、令和元年12月27日完了 【工事】羽村一中は、令和2年1月31日完了・博物館は、令和元年11月29日完了 ○トイレ改修工事:富士見小は、令和元年10月10日に完了 ○プール改修工事:羽村二中は、令和2年1月14日完了 ○耐震診断:中央館は、令和元年12月27日完了

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

公共施設の長寿命化対策や利用者が安全快適に利用できる環境を整備するため、公共施設等総合管理計画等に基づき改修工事を実施することができている。
 また、事業を実施する際には、施設を利用しながらの工事となるため、資材搬入、騒音等について、関係部署と調整し、施設利用者に対する安全対策を行い、改修工事を実施するなど、行政需要への的確な対応に努めた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

公共施設の長寿命化や大規模改修、整理統合などの手法により、財政負担の軽減、平準化を図り、公共施設の総合的な管理を推進し、事業を計画的に実施する。